

ドイツ・ロマン主義医学とその遺産

小原 正明

- 一 香川修庵の遺墨 小曾戸 洋・町 泉寿郎
- 一 ドイツ・ロマン主義医学とその遺産 小原 正明

五月例会 平成九年五月二十四日(土)
順天堂大学医学部九号館八番教室
中国で失われ日本に現存する中国医書

- 一 血液循環理論前史(二)「セルヴェトス」 藤倉 一郎
- 一 アラブ医学者の名前 泉 彪之助
- 一 八丈島に流された医師たち―八丈島流人銘々伝より― 中西 淳朗

順天堂大学医学部九号館八番教室

日本医史学会九月例会
神奈川地方会第11回学術大会 合同会

平成九年九月二十七日(土)

けいゆう病院13階大講堂(横浜市西区)

- 一、本間玄調(棗軒)について 荒井保男・衣笠 昭
- 二、鎮将府日誌(その二)―太政官日誌との併読 中西 淳朗
- 三、荒川保雄、虱に賭けた四〇年の生涯 佐分利 保雄
- 四、ペスト残影(その八) (座長 大滝紀雄)
- ライン川中流に「ペスト残影」を求めて 滝上 正
- 五、ケガレの思想の歴史的展開 杉田 暉道

本発表では、西欧キリスト教世界(アメリカ合衆国を含む)の十五、十六世紀ルネサンス期、パラケルススの時代に次いで《医の転回期》となった、十八世紀末から一八三〇年代までの《現代医学の生誕期》に、ウィーンを除くドイツ語圏に栄えた特異な「ロマン主義医学」の概要とその遺産について述べる。

一 ドイツ・ロマン主義医学とは何だろうか

ロマン主義医学とは、啓蒙期の唯物論的・実証論的傾向や、それがつくりあげた合理的な秩序に対する反動として十八世紀末に生じたロマン主義運動の医学的局面である。ロマン主義医学は、主としてドイツに見られる特殊な、地方的な現象であると見なされ、ドイツ・ロマン主義医学とも呼ばれる。

ドイツ・ロマン主義医学は、パラケルスス、シュタール、ハラー、ブラウンらの医の先駆者達の影響やベーム、スピノーザ、ライプニッツ等の哲学的・神学的伝統の上に成長し、イエナ、ヴュルツブルク大学のシェリングの「自然哲学」から絶大な影響を受けていた。ここでは、分極性あるいは二元性を

原理とした哲学体系に基づく生命論、病理学説及び治療方法が展開された。

二 ロマン主義医師達のプロワイール

ドイツ・ロマン主義医学は、質が様々な幅広い医学者・医師のグループから構成され、次のような四つの流派に大別される。彼等は総じて、有機体思想と人間や生命や健康や病気についての根源的な問い掛けをした。

【自然哲学派】(Naturphilosophische Schule)

シェリングの自然哲学及び觀念論の影響を強く受けた流派。シュテツフェンス、デリンガーとその門下生のオーケン、トロクスラー、キーザー、カールス、マルクス、レシュラウプがこの流派に入る。

【メスメリズム採用派】

メスマーが提唱した医学論がドイツで新たに開花したものの。キーザー、ケルナー、シューベルト、ヴェインディッシュマン、リングスアイス、バーダー、ハインロートが挙げられる。

【自然誌学派】(Naturhistorische Schule)

疾病の系統的分類に励み、病理解剖により客観的な、詳細な病気の自然誌を作成した。シェーンラインが創始し、門下生のシュタルク、ヤーン、ホフマン等がこの流派に入る。シェーンラインの医学は自然科学を模範とし、ロマン主義医学を脱皮して次第に精密科学的医学へと向上していった。

【ホメオパシー学派】

ハーネマンが創始した治療体系である。この考え方にはロマン主義につながるものがあるので、ロマン主義医学の一流派として分類した。

三 ロマン主義医学の遺産

次の諸例が挙げられる。

- (1) オーケンらが創立し、今日なお存続している組織の「ドイツ自然科学者及び医師協会」。
- (2) ハインロートに始まる「精神身体医学」。
- (3) メスメリズムに由来する「催眠療法」。
- (4) 病因となり人体内にすむ「下級な疾病有機体」の概念は十九世紀後半以後の病原微生物の解明で日の目を見た。
- (5) 「Naturliche Heilverfahren」として、クナイプ式水療法や現代ドイツにおける健康指向の食養の改良と促進のためのレフォルム運動。

現在、ドイツ本国では、自然との関係でのエコロジー運動や今日の医学における人間の責務の問題に関連して、ロマン主義医学のルネサンスを迎えているという。ロマン主義の受容と影響の歴史を更に深く研究することが要請されている。

(平成九年四月例会)